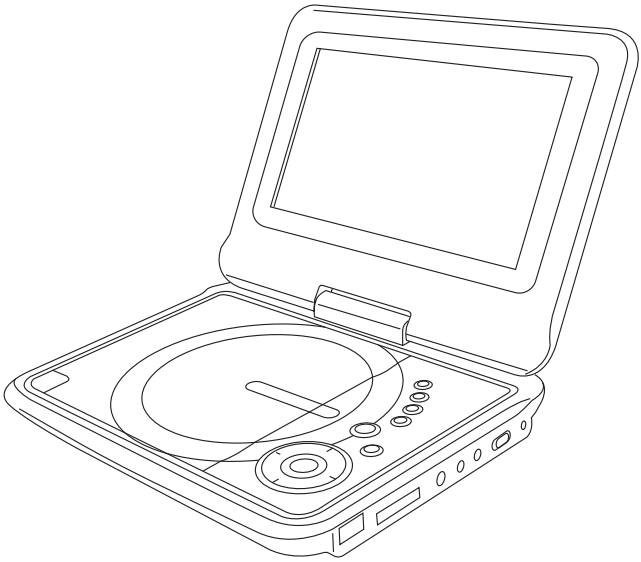
ASPILITY

ポータブル DVD プレーヤー
APD-0701

取扱説明書



ごあいさつ

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みのうえ、安全にお使いください。
本書は、いつでも見られるところに保管してください。

はじめに
こんなことができます
準備する
再生する
設定を変更する
こまったときは
仕様

Scubism
株式会社エスキュービズム通商

もくじ

はじめに

安全上のご注意.....3
使用上のお願い.....8
付属品一覧.....10

こんなことができます

こんなことができます 11
DVD・CD を再生する.....11
外部メディアを再生する.....11
他の AV 機器に出力する 11
再生できるディスク・メディア.12
再生できるディスク・メディア 12
再生できるファイル.....13
デジタル放送を録画したディスク ..13
ディスク、外部メディアの取り扱い..13
DVD パッケージの表示 14

準備する

各部の名称.....15
本体.....15
リモコン.....16
レンズ保護カバー 17
レンズ保護カバーの取り外し 17
電源の接続.....18
本体電源スイッチについて.....18
電源のスタンバイ 18
屋内用AC アダプターを使用する ...18
車用DC アダプターを使用する 18
乾電池を使用する 18
乾電池の入れ方 19
乾電池使用時の注意 19
リモコンについて 20
電池の入れ方 20
リモコンの使い方 20
ディスプレイの回転について...21
ディスプレイの回転.....21

再生する

基本的な操作.....22
ディスクの挿入と再生.....22
一時停止.....23
停止.....23
音量の調整.....23
消音.....23
早送り.....23
早戻し.....23
DVD の操作 24
音声の切り換え 24
字幕の切り換え 24
チャプターのスキップ.....24
チャプターを選択して再生.....24
メニュー画面へ移動 24
くり返し再生 24
アングルの切り換え 25
ズームの切り換え 25
再生情報の表示 25

CD の操作.....25
トラックのスキップ.....25
くり返し再生.....25
再生情報の表示.....25
CD を録音する.....26
CD を USB/SD へ録音.....26
録音中.....27
外部メディアを再生する.....28
外部メディアの再生.....28
外部メディアの取り外し.....29
他の AV 機器と接続する.....30
外部AV機器への出力.....30
外部AV機器からの入力.....30
イヤホンを使用する.....30

設定を変更する

一般設定.....31
サウンド.....32
画面調整.....33
その他.....34

こまったときは..... 35

仕様..... 38

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる方や周囲の人の危険と物的損害を未然に防ぐために、重要な事項を記載しています。
本製品をお使いの前に、次の内容をよく理解して本文をお読みください。

警告 **この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。**

注意 **この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。**

禁止事項を示します。

ご確認いただきたい情報を示します。

警告



故障の発生や異常が感じられるときはすぐに使用を中止してください

- 煙が出ていたり、変なにおいがするとき
  ⇒ すぐに電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してから、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- 本体の内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、外装が破損したとき



修理・分解・改造はしないでください

- 感電の原因になります
  ⇒ 修理や点検は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- 保証対象外になります。



同梱された付属品以外を製品と組み合わせて使用しないでください

- 火災・感電・故障の原因になります
  ⇒コードやアダプターは同梱品を使用してください

⚠警告

禁止

運転者は運転中に本製品を操作しないでください

・事故の原因になります
・操作するときは車両を停止させてから行ってください

禁止

下記場所での設置・使用はしないでください

・火災・感電の原因になります

1. 湿度の高い場所・ぬれた場所
⇒浴室・プールまたは加湿器の近くなどでの使用は避けてください

2. 温度の高い場所・温度変化の大きい場所
⇒直射日光が当たる場所、暖房・冷房の近く、調理器具の近くなどでの設置・使用は避けてください
⇒車内に放置しないでください

3. ほこりの多い場所・熱の篭もるような物の近く
⇒工場・作業場、また毛足の長いじゅうたんの上などでの使用にはご注意ください

4. 電磁波や強い磁気を発する機器等の近く
⇒電子レンジや音響スピーカーの近くでの使用は避けてください

5. 閉めきった狭い空間
⇒棚の中など熱が篭もるような場所で使用しないでください
⇒布などをかぶせて使用しないでください

禁止

電源コードがねじれていたり、損傷したままでの使用はしないでください

・故障・破損・発熱・溶解・感電・火災の原因になります

禁止

電源コードを束ねたままでの使用はしないでください

・ノイズの発生・故障・破損・発熱・溶解・感電・火災の原因になります

禁止

タコ足配線はしないでください

・火災・感電・故障の原因になります
⇒接続する前に、傷などがないか電源コード全体を点検してください
⇒接続する前に、電源コードを伸ばして使用してください
⇒電源コードに傷などがあった場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
⇒電源コードを接続したあと、ねじれている箇所はないか、イスの足などがのっていないか確認してください
⇒配線・配電は、容量に合ったものを使用してください

⚠警告

確認

電源プラグの周辺はきれいにしてご使用ください

・火災の原因になります
⇒電源プラグとその周り・電源コンセントにほこりなどが付いていたら掃除してください

禁止

本製品が水にぬれることは避けてください
ぬれた手で触れないでください

・感電の原因になります
⇒雨天時、降雪時、水辺での使用を避けてください
⇒飲み物などにお気をつけください
⇒お手入れにはよく絞った雑巾などで軽くふき、液体や霧状の洗浄剤は使用しないでください

禁止

雷が発生しているときは、本体・電源コード・AV 接続ケーブルに触れないでください

・感電の原因になります

禁止

本製品のレンズ部や通気孔などから内部にものを差し込まないでください

・火災・感電・故障の原因になります
⇒ドライバー、クリップなどを差し込むのはおやめください

確認

本製品ご使用の前に、本製品のリモコンで他製品が誤動作を起こさないことを確認してください

・火災・故障の原因になります
⇒とくに暖房装置などにご注意ください

禁止

本製品の内部をのぞかないでください

・視力障害の原因になるおそれがあります
⇒本製品のピックアップレンズにはレーザーを使用しています

⚠注意



変形したディスクは使用しないでください

・けが・故障の原因になります



ひざの上に置いて使用しないでください

・低温やけど・けが・損傷の原因になります



出入り口・通路等で使用しないでください

・けが・損傷・故障の原因になります



振動の多い場所・不安定な場所では使用しないでください

・故障の原因になります



上にものを置かないでください

・故障の原因になります



液晶画面を長時間連続して見ないでください

・視力低下の原因になります



本製品に磁気カード（クレジットカード等）を近づけないでください

・磁気カードが使用できなくなるおそれがあります



液晶画面を強く押したり、衝撃を与えないでください

・故障・損傷の原因になります



液晶画面が割れた場合、内部の液体には触れないでください

⇒口に入った場合は、できるかぎり吐き出し、水で口とのどをよくすすぎ、医師の診察を受けてください
⇒目に入った場合は、水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください
⇒皮膚や衣服に付いた場合は、アルコールでふき取り、水洗いしてください



アダプターを抜くときは、アダプター本体を持って抜いてください

・コードを持って抜くと損傷の原因になります

⚠注意



本製品を使用しない場合は、電源から屋内用 AC アダプター及び車用 DC アダプターを抜いてください

・天災（落雷など）やほこり等が原因のトラッキングなどにより故障や火災の原因となることがあります



持ち運ぶときは次のことを守ってください

⇒電源や他の接続をすべて取り外してください
⇒ディスク、外部メディアをすべて取り外してください



ご使用の際は、音量を小さくしてから再生をしてください

・突然大きな音声が出ると聴覚障害の原因になる場合があります。



イヤホンを使用するときは音量にお気をつけください

・大きな音で長時間聴きつづけると、聴覚障害の原因になる場合があります

使用上のお願い

- 本製品にあいている放熱用の通気孔をふさがないでください。
- 本製品の使用中に、近くにあるテレビ・ラジオ・ビデオ等の機器に、画像や音声の乱れなどの悪影響が出ることがあります。その場合は離してご使用ください。
- 殺虫剤や整髪料、その他揮発性の溶剤などをかけないでください。お手入れの場合も、アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤は使用しないでください。
- ゴム製品やビニール製品を長時間接触させないでください。
- 長時間ご使用になると本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、本体電源を OFF にし、ディスク・メモリーカード・USB メモリーを取り外しておいてください。
- 本製品は日本国内専用です。海外などでは使用しないでください

■車用DCアダプターについて

- 同梱の車用DC アダプターは 12V のマイナスアース車専用です。車両電源に接続する前に、お車の仕様を確認してください。
- 上記や仕様以外の使用環境でのご使用は、故障の原因になりますのでおやめください。
- 同梱の 車用DC アダプターから電力を供給する場合、エンジン始動時は車用DC アダプター(アクセサリーソケット側）を抜いておいてください。
- 同梱の車用DCアダプターから電力を供給する場合、エンジン始動時およびエンジン回転数の上がり下がりによって電圧は変化します。本製品の電源回路に負荷がかかるのでアイドリング時の電圧の安定した状態でお使いください。

■屋内用ACアダプターについて

- 屋内用 AC アダプターは家庭用 100V のコンセントに接続してください。
- 濡れた手で屋内用 AC アダプターの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- 本製品に付属している屋内用 AC アダプターを使用してください。
- 屋内用ACアダプターは通電状態にあると本体に熱を持ちます。
- 持ち運ぶときはコンセントから抜いて、温度が下がってから持ち運んでください。
- 風通しの悪い場所で使用すると故障、事故の原因になりますのでご注意ください。

■ 液晶パネルの特長について

- 液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており 99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（画素欠け）や周囲と異なる色が点灯したままの点（輝点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- 液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像（画面焼けの様な症状）が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■ 結露について

次のような場合には、本製品内部に水滴が生じる（結露する）可能性があります。
結露が生じたまま使用すると故障の原因になります。

- 冷たい場所にあった本製品を、暖かい場所に移動したとき
- 室温が急に上がった、または下がったとき
- エアコンなどの冷風が、直接本製品にあたっているとき
- 湿度の高い場所で使用したとき
- 結露は、本製品やディスクを傷める原因となります。結露がおきそうな場合は本製品をすぐに使用せず、2 ～ 3 時間放置した後でご使用ください。

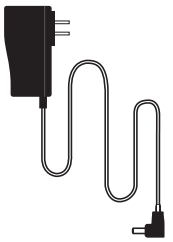
■ 免責事項に関するご注意

次のような場合、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

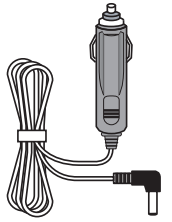
- 自然災害、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故によって生じた損害
- お客様の故意または過失、誤用、その他通常でない条件下で使用したことによって生じた損害
- 取扱説明書に記載された内容を守らないことによって生じた損害
- 取扱説明書に記載されていない接続機器、部品、メディア、ソフトウェアを使用したことによって生じた損害
- 本製品の使用または使用不能によって生じた不利益または損害（事業利益の損失、事業の中断など）

付属品一覧

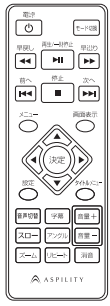
本製品をご使用いただく前に、以下の内容物がすべてそろっていることをご確認ください。



屋内用ACアダプター



車用DCアダプター
（カーライター用）
※ 12Vマイナスアース車専用



リモコン



取扱説明書
（本書）



保証書

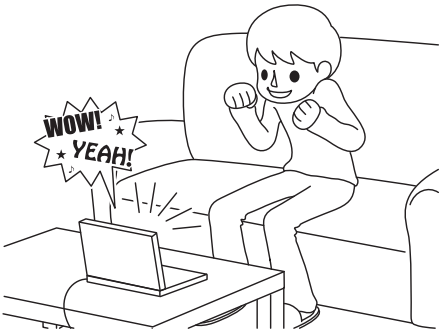
※ 挿入されているリモコン用電池（単4形乾電池×2本）は動作確認用です。
※本製品へ挿入するための単３形乾電池×6本は別売です。
※使用可能電池　単３形アルカリ乾電池、単３形ニッケル系充電池
　電池の取扱方法については、P18～P19をご覧下さい。

こんなことができます

DVD・CD を再生する

DVD•CD で、映画や音楽、写真が楽しめます。

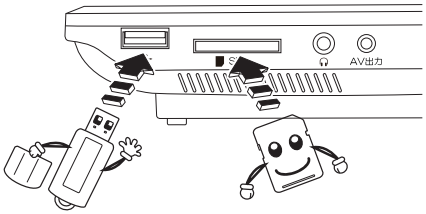
本書 22 ページの
「基本的な操作」をご覧ください。



外部メディアを再生する

USB メモリーや SD メモリーカードなど外部メディアの動画や音楽、写真が楽しめます。

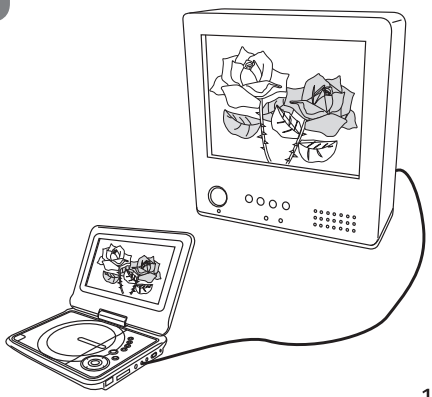
本書 28 ページの
「外部メディアを再生する」をご覧ください。



他の AV 機器に出力する

本製品で再生中の映像・音声をテレビなどの他の AV 機器に出力することができます。

本書 30 ページの
「他の AV 機器と接続する」をご覧ください。



再生できるディスク・メディア

再生できるディスク・メディア

本製品では、以下のディスク・メディアが再生できます。

ディスク名称、メディア名称	特徴・記録内容	ディスクのサイズ
DVD ビデオ	映画などの市販ソフト	12cm
DVD ± R/RW / ± R DL、CPRM ※	地上波デジタル、アナログ放送などを録画したディスク MP3、JPEG、MPEG4 などパソコンで保存した音楽・画像・動画ファイル	
音楽用 CD	音楽などの市販のソフト	
CD-R/RW	CD-DA フォーマットで記録されたディスク、一部の VCD、 MP3、JPEG、MPEG4 などパソコンで保存した音楽・画像・動画ファイル	
USB メモリー	パソコンなどで保存した音楽、画像、動画ファイル	—
SD メモリーカード		

- 8cm の CD・DVD には対応していません。
- 上記のディスク・メディアであっても、本製品との相性、データの作り方によっては再生できない場合があります。
- 本製品は CPRM 方式で記録されたディスク（DVD ± R/RW / ± R DL）を再生することができます。
- VCD（ビデオ CD）：動画が収録されている CD の再生について、一部の製品においてデータやフォーマットが適合しないことで再生できないものがありますのでご了承ください。
- 最新の映画 DVD 等の市販ディスクでは高度な処理を DVD 再生機器に要求するものがあり、本製品では一部再生できないものがありますのでご了承ください。

※ ファイナライズ 処理を行わないと再生できません。
詳しくはディスクに録画 / 記録を行った DVD レコーダーやパソコンの取扱説明書をご覧ください。

再生できるファイル

本製品では、以下のファイルが再生できます。

ファイル形式	記録内容
MPEG4	動画＋音声　拡張子「.avi」のファイルなど
MP3	音声　　再生可能ビットレート 320kbps 以下
JPEG	画像

- 上記のファイルであっても、本製品との相性、データの作り方（画質や画像の大きさ、再生ビットレートなど）によっては再生できない場合があります。
- CD-R/RW、DVD ± R/RW / ± R DL ディスクなどは信頼性の高い製品をご使用ください。粗悪なディスクを使用した場合は、再生が正常に行えない場合があります。
- パソコンでディスクを作成する場合には「DVD プレーヤーで使用する」という方法で記録してください。記録後にファイナライズを行わなければ本製品で使用できない場合があります。

デジタル放送を録画したディスク

デジタル放送を録画したディスクを再生するときは、次のことに注意してください。

- 再生開始の際にコピー制御による認証動作が必要のため、通常のディスクより読み込みに時間がかかります。故障ではありませんので、そのままお待ちください。
- デジタル放送を録画したディスク (CPRM 方式) を本製品で再生させるには、必ず録画を行ったレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理の方法はレコーダーの説明書をお読みください。
- AVCHD、AVC Rec、HD Rec 方式で録画されたディスクには対応していません。

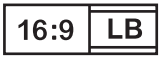
ディスク、外部メディアの取り扱い

ディスク、外部メディアの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- 変形しているディスク、割れていたりひびの入っているディスクを使用しないでください。
- シールやラベルが貼ってあるディスクを使用しないでください。
- ディスクに鉛筆やボールペンなどで書き込みをしないでください。
- ディスクをシンナー、ベンジン、アルコールなどで拭かないでください。
- ディスクやメディアの使用後はケースに収めてください。
- ディスクやメディアを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ディスクやメディアを直射日光の当たる場所や、高温になる場所に保管しないでください。

DVD パッケージの表示

DVD ディスクやパッケージには、下表のようなマークが表示されています。

マーク	名称	意味
	リージョンコード	DVD の再生可能地域を表しています。本製品ではリージョンコードが「2」または「ALL」と表記されているディスクが再生可能です。
	字幕	DVD に収録されている字幕の数を表しています。【字幕】ボタンまたは DVD メニュー画面で字幕を切り換えることができます。
	音声	DVD に収録されている音声トラックの数を表しています。【音声】ボタンまたは DVD メニュー画面で音声を切り換えることができます。
	マルチアングル	DVD に収録されているアングルの数を表しています。複数のアングルが収録されている場面では【アングル】ボタンでアングルを切り換えることができます。
	画面アスペクト	DVD に収録されている映像のアスペクト比（画面の横と縦の比）を表しています。 接続するテレビの種類にあわせて設定することができます。

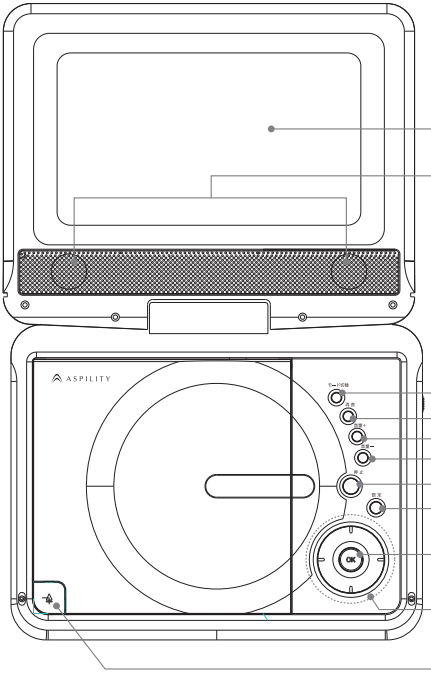
リージョンコードについて

本製品はリージョンコード「2」または「ALL」の DVD に対応するよう設計されています。
リージョンコードが異なると、その DVD は再生することができません。
上記のマークがリージョンコード「2」および「ALL」のマークですので、このマークが DVD のパッケージ裏面に記載されていることをお確かめください。

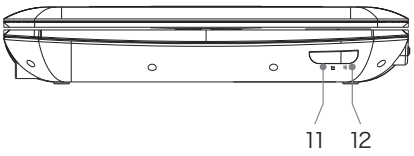
各部の名称

本体

上部

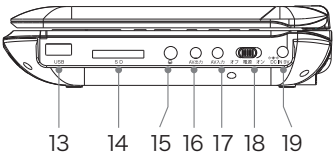


前面



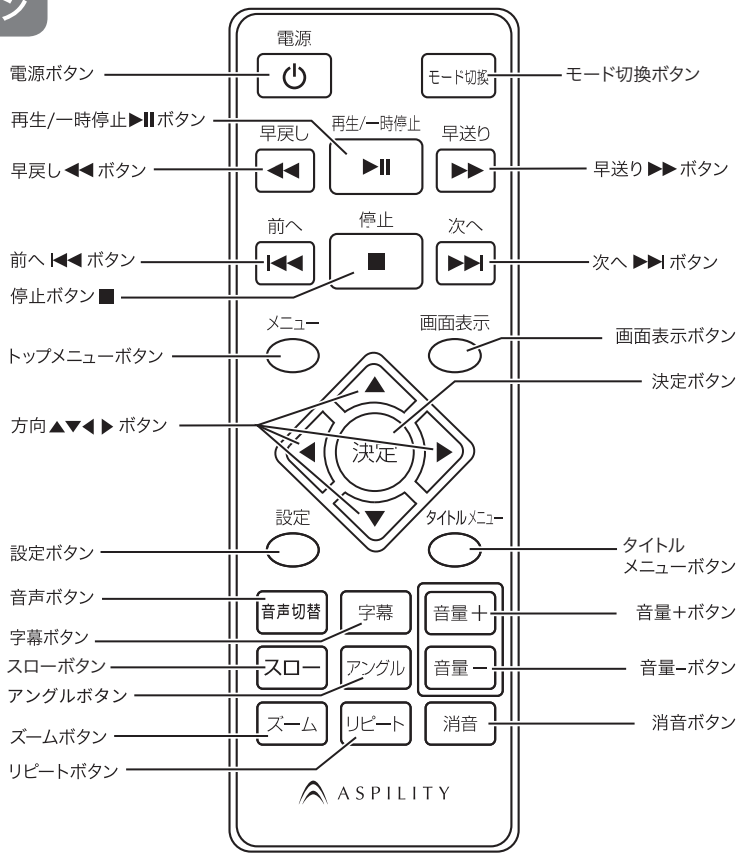
11.リモコン受光部
12.電源ランプ

側面



13.USBポート
14.SDスロット
15.イヤホン出力
16.AV出力
17.AV入力
18.電源スイッチ
19.電源入力

リモコン


電源
電源ボタン
モード切換
モード切換ボタン
再生/一時停止▶II ボタン
早戻し
再生/一時停止
早送り
早戻し◀◀ ボタン
早送り ▶▶ ボタン
前へ
停止
次へ
前へ I◀◀ ボタン
次へ ▶▶I ボタン
停止ボタン ■
メニュー
画面表示
トップメニューボタン
画面表示ボタン
決定ボタン
方向▲▼◀▶ ボタン
決定
設定
タイトルメニュー
設定ボタン
タイトル
メニューボタン
音声ボタン
音声切替
字幕
音量＋
音量＋ボタン
字幕ボタン
スローボタン
スロー
アングル
音量－
音量－ボタン
アングルボタン
ズーム
リピート
消音
消音ボタン
ズームボタン
リピートボタン
ASPILITY

レンズ保護カバー

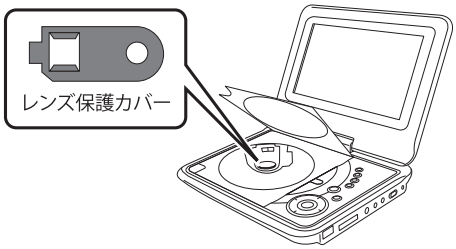
はじめてお使いになるときは、下記の要領でレンズ保護カバーを取り外してください。
その後、18 ページの「電源の接続」をご覧ください。

レンズ保護カバーの取り外し

ポイント

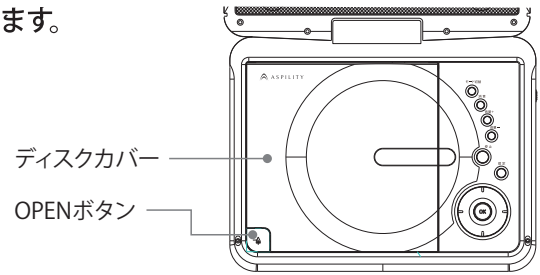
本製品にはピックアップレンズの保護を目的として「レンズ保護カバー」が装着されています。ご使用いただく前に必ずレンズ保護カバーを取り除いてください。装着したまま電源を入れた場合、故障やお客様のディスクを破損させる原因となります。

※ レンズ保護カバーの形状はイラストと異なる場合がございます。

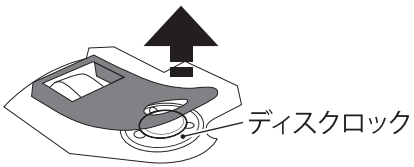


1 **本体の OPEN ボタンを押します。**

ディスクカバーが開きます。

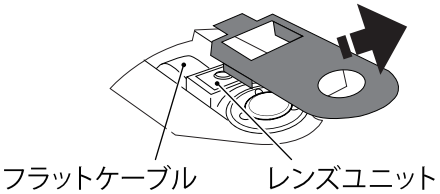


2 **ディスクロックからレンズ保護カバーを上方向へ外します。**



3 **レンズ保護カバーをゆっくりと矢印の方向へ取り去ります。**

レンズユニットやフラットケーブルを傷つけないように十分注意してください。



電源の接続

本体主電源スイッチについて

使用電源	主電源 ON 屋内用ACアダプター 車用DCアダプター 充/乾電池	主電源 OFF
スイッチの位置		

※屋内用ACアダプター、もしくは車用DCアダプターを使用する場合は充/乾電池を取り外してください。

電源のスタンバイ

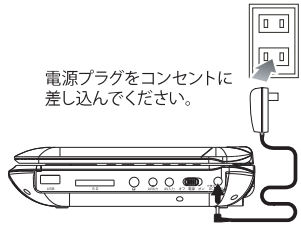
リモコンの【電源】ボタンを押します。

・この状態（スタンバイ）では、リモコンでの電源 ON 操作のみ有効です。
・本製品を使用しないときは、本体の主電源スイッチを OFF にしてください。

屋内用ACアダプターを使用する

1 本体側面の電源端子に同梱の屋内用ACアダプターを接続します。

2 本体の電源スイッチを「①電源オン」にします。
・本体の電源 LED が緑色に点灯します。

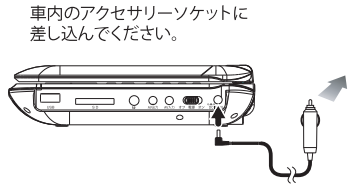


準備する

車用ACアダプターを使用する

1 本体側面の電源端子に同梱の車用DCアダプター（アクセサリーソケット用）を接続します。
車用 DC アダプターは 12V のマイナスアース車専用です。プラスアース車や 24V 車でのご使用は故障の原因になりますのでおやめください。

2 本体の電源スイッチを「①電源オン」にします。
・本体の電源 LED が緑色に点灯します。



※車載のアクセサリーソケットへ無理な力を加えながら抜き差しを行うと破損する原因となりますのでご注意ください。

乾電池を使用する

電源の無いところでは底面にある電池ボックスに電池を入れることで使用できます。
※電池は別途お買い求めください（単3形乾電池または単3形充電池を 6 本使用します。）

連続使用時間
単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル系充電池・・・ DVD 再生 - 約 2 時間

ポイント

・電池を本体へ挿入する前に本体の電源スイッチをオフにしてください。
・本体へ電池を入れると重量が増しますので、持ち運ぶ際にはご注意ください。
・屋内用 AC/車用DC アダプターを使用するときは必ず電池を抜いてください。

乾電池の入れ方

1 矢印の方向へ電池カバーをスライドさせて取り出します。

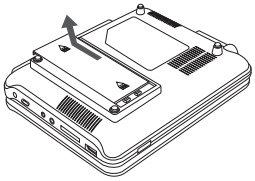
2 単3形乾電池 / 充電池6本を入れます。

乾電池の⊕⊖を正しく入れてください。

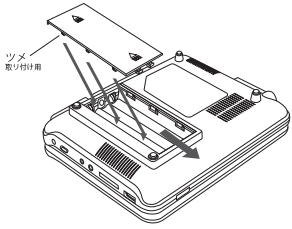
> **ポイント**
> 電池が正しく入っていないと、電池から液漏れが生じたり、加熱・故障・損傷の原因になります。

3 ツメを合わせて電池カバーを閉めます。

4 本体の電源スイッチを「②電源オン」にします。



※ 使用するための乾電池は別売りです。
※ マンガン乾電池は使用しないでください。
※ 下記「乾電池使用時の注意」をお読みください。



乾電池使用時の注意

電池の使用にあたっては、次の注意事項を守ってください。

・電池を正しく使用しないと液漏れを起こしたり、破裂したりする可能性があります。

使用可能電池
リモコン：単4形乾電池×2本
本体用　：単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル系充電池×6本

⇒本製品に電池を入れるときは、プラスとマイナスを正しく入れてください。
⇒古い電池や種類の違う電池（大きさや厚みの異なる物など）を使用しないでください。
⇒使用済みの電池や有効期限切れの電池を使用しないでください。
⇒電池ボックス内の電池の向きが間違っていても起動 / 再生してしまう場合があります。
そのまま使用を続けると乾電池の破裂や液漏れなど不具合症状が起こる場合がありますのでご注意ください。
⇒電池が切れたらすぐに取り除いてください。消耗した電池を入れたままにしておくと、液漏れの原因となります。
⇒電池を使用していて電池の容量が少なくなってくると画面がちらついたり、ピッという音が出るなど正常な動作をしない場合があります。
これらの症状がありましたらすみやかに電池を交換してください。
⇒電池を使用していて電池の容量が少なくなってくると画面右上に「電池マーク」が点滅することがあります。この場合はすみやかに電池を交換してください。
⇒屋内用ACアダプター/車用DCアダプターを使用する時は、必ず電池を抜いてください。
⇒電池が液漏れを起こしたら、液に触れないよう注意してすぐに廃棄してください。
新しい電池を入れる前に必ず電池ボックス内部に付いた液をよく拭き取ってください。
⇒長期にわたって保管する場合は、電池を取り外してください。
⇒破棄する場合にはビニールテープやセロテープを＋ / ー面を覆うように巻きつけ、確実に絶縁してください。
破棄方法についてはお住まいの地域の破棄方法に従ってください。

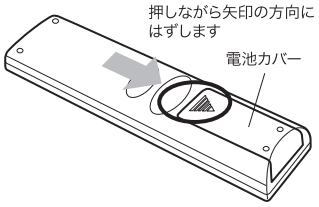
リモコンについて

電池の入れ方

電池交換のしかた

1. 電池カバーをはずす

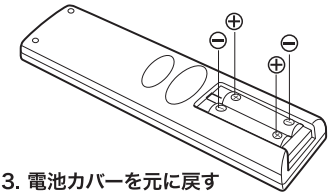
電池カバーの〇部を押しながら矢印の方向に電池カバーをはずしてください。



2. 単4形乾電池2本(付属)を入れる

※ 乾電池は+プラスとーマイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。

※ 付属の電池は動作確認用です。



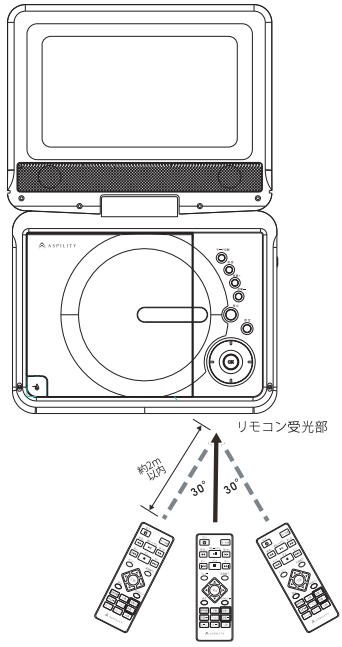
3. 電池カバーを元に戻す

リモコンの使い方

リモコンを使用する際は、本体受光部から約 2m 以内、下左右に各 30 度以内の範囲から操作するようにしてください。
リモコンの発信部とリモコン受光部の間に信号を遮るものがないようにしてください。

受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンが正常に作動しない場合があります。その場合は、光が当たらないようにする、リモコンの角度を変える、受光部に近づけて操作するなどしてください。

< 注意 >
本製品の構造上、リモコン受光部が少し下向きに設置されています。リモコンで操作をする場合には本製品の下の方からリモコン受光部へ向けて操作していただきますと速やかな操作が可能です。

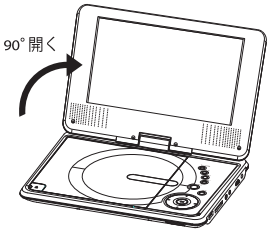


ディスプレイの回転について

ディスプレイの回転

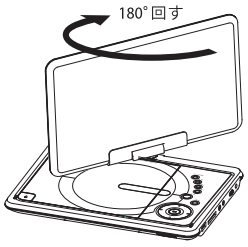
1 ディスプレイを 90˚ 開きます。

画面を100˚以上開くと、画面の重みで背面へ倒れてしまう可能性があります。画面を 100˚以上開いて視聴する場合は、以下のように画面部分を回転させて視聴することができます。



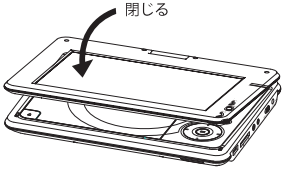
2 図のように時計回りに 180˚ 回すことができます。

半時計回りには 90˚まで回転が可能です。
ディスプレイを回す時には無理な力をかけると本体のヒンジ部分や液晶画面が破損してしまう可能性がありますので注意して画面を回転させてください。



3 ディスプレイをたたむこともできます。

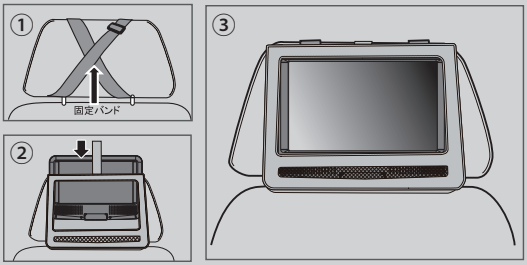
IR 受光部が視聴画面の後ろになり、リモコン信号が効きにくくなりますので注意してください。



・ディスプレイを 180˚ 回転させると IR 信号受光部や操作ボタンが画面の前面から見えなくなり、不意にボタンを押してしまうことで操作してしまうことを防ぐことができます。
・上からディスプレイを見下ろすような設置をした場合に画面の角度調整を安定しておこなえます。

別売の車載バッグ

車載時にヘッドレストに取り付けて、後部座席での DVD 視聴が可能な「車載バッグ」を別売でご用意しております。ご入用の際は巻末の「お客様相談窓口」までご相談ください。



［取り付け手順］
①車載バッグのベルトをヘッドレストに固定します。
②車載バッグに、上記手順で畳んだ状態の DVD プレーヤーを挿入します。
③ベルトで車載バッグに DVD プレーヤーを固定します。

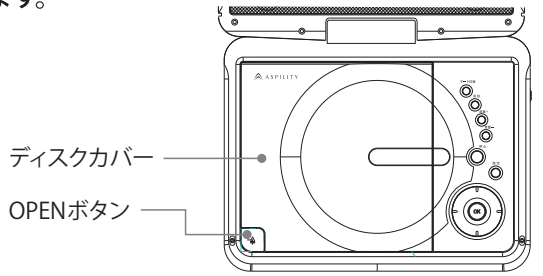
基本的な操作

はじめてお使いになるときは、17ページをご覧になりレンズ保護カバーを取り外してください。

ディスクの挿入と再生

1 本体の OPEN ボタンを押します。

ディスクカバーが開きます。



2 ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上にして、中央のディスクロックにカチッと音がするまではめ込みます。

※強く押し込まないでください。故障や破損の原因になります。

3 ディスクカバーを閉めます。

ディスクカバーを閉めると、画面に【読込中】と表示された後、自動的に再生が始まります。

再生する

ポイント

- 一部のディスクでは、自動で再生がはじまらないものがあります。
  その場合には【再生 / 一時停止】ボタンや【決定】ボタンを押すと再生がはじまります。
- メニュー画面から再生がはじまる DVD の場合は【メニュー】ボタンを押すとメニュー画面が表示されますので、方向ボタンで項目を選択して【決定】ボタンを押してください。
- DVD、CD に共通の基本的な操作については、次ページからご覧ください。
- DVD のみの操作については、24 ページからご覧ください。
- CD のみの操作については、25ページをご覧ください。

※リモコンの「決定ボタン」（各項目を決定するボタン）と同じ本体のボタンは【OK】ボタンです。

一時停止

再生中に【再生 / 一時停止】ボタンを押します。
再生が一時停止します。
もう一度【再生 / 一時停止】ボタンを押すと、再生が始まります。

停止

再生中に【停止】ボタンを押します。
再生が停止し、画面に「再生キーを押し、継続。」と表示されます。

- 停止した場面からもう一度再生する場合は【再生】ボタンを押します。
- 完全に再生を終了する場合は、もう一度【停止】ボタンを押します。

音量の調整

音量ボタンで音量調整ができます。
0～20の間で音量調整ができます。

消音

【消音】ボタンを押します。
音声が消え、画面に「消音」と表示されます。
消音前の音量に戻すには、もう一度【消音】ボタンを押します。(「消音オフ」と表示されます。)

早送り

再生中にリモコンの【早送り】ボタンまたは本体の右ボタンを押します。

- 通常再生の 2 倍の速度 (2 倍速) で早送り再生が開始して画面に「▶▶ 2x」と表示されます。
- 通常の再生に戻すには【再生】ボタンを押します。
- 2 倍速で早送り中にもう一度【早送り】ボタンを押すと、画面に「▶▶ 4x」と表示され、4 倍の速度で早送り再生されます。
  【早送り】ボタンを押すごとに早送り速度が増し、最大 32 倍速で早送り再生ができます。
- 32 倍速で早送り中にもう一度【早送り】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

早戻し

再生中にリモコンの【早戻し】ボタンまたは本体の左ボタンを押します。

- 通常再生の 2 倍の速度 (2 倍速) で早戻し再生が開始して、画面に「◀◀ 2x」と表示されます。
- 通常の再生に戻すには【再生】ボタンを押します。
- 2倍速で早戻し中にもう一度【早戻し】ボタンを押すと、画面に「◀◀ 4x」と表示され、4 倍の速度で早戻し再生されます。
  【早戻し】ボタンを押すごとに早戻し速度が増し、最大 32 倍速で早戻し再生ができます。
- 32 倍速で早戻し中にもう一度【早戻し】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

※ ズーム中に本体の左右 ボタンでは、早戻し / 早送りの操作ができません。
ズーム中にはリモコンを使用して操作してください。

DVD の操作

音声の切り替え

再生中に【音声切替】ボタンを押します。

音声チャンネルが切り替わり、再生している音声チャンネル名が画面に表示されます。

- 表示は約 5 秒後に消えます。
- 3 種類以上の音声チャンネルが収録されている場合は、音声切替ボタンを何度か押して再生したい音声チャンネルに切り替えてください。
- 音声切り替えに対応していない DVD では、操作は無効となります。
- 一部の DVD では、タイトル画面またはメニュー画面から音声を切り替えてください。

字幕の切り換え

再生中に【字幕】ボタンを押します。

字幕チャンネルが切り換わり、再生している字幕チャンネル名（または [字幕オフ]）が画面に表示されます。

- 表示は約 5 秒後に消えます。
- 3 種類以上の字幕チャンネルが収録されている場合は、字幕切換ボタンを何度か押して表示したい字幕チャンネルに切り換えてください。
- 字幕切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。
- 一部の DVD では、タイトル画面またはメニュー画面から字幕を切り換えてください。

チャプターのスキップ

再生中に【次へ】ボタンを押します。

再生画面（シーン）が 1 つ先のチャプターに移動します。

再生中に【前へ 】ボタンを押します。

再生画面（シーン）が 1 つ前のチャプターに移動します。

※ ディスクによっては【前へ】ボタンを 1 回押すと再生中のチャプターの先頭から再生するものがあります。その場合は【前へ】ボタンを2回押すと1つ前のチャプターに移動します。

※ ディスクによって動作が変わる場合があります。

チャプターを選択して再生

1. **再生中に【メニュー】ボタンを押します。**
   DVD のメニュー画面が表示されます。
2. **方向ボタンを使って [チャプター] を選択して【決定】ボタンを押します。**
   チャプターの選択画面が表示されます。
3. **方向ボタンを使って再生を始めたい [チャプター] を選択後【決定】ボタンを押します。**
   選択したチャプターから再生が始まります。

ポイント

チャプターを選択して再生する操作は、DVD によって異なります。

ここでは、DVD のメニュー画面から選択する操作を説明しています。

メニュー画面へ移動

再生中に【メニュー】ボタンを押します。

DVD のメニュー画面が表示されます。

ポイント

- 映画などを見ている途中に、ボタンひとつでメニュー画面へ移動します。
- 一部の DVD では【タイトル】ボタンを押しタイトル画面を表示して、各種メニューを選択するものがあります。

くり返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押します。

くり返し再生の方法が切り換わり、現在の状態が画面に表示されます。【リピート】ボタンを押すたびに、表示は次のように切り換わります。

チャプター	現在のチャプターをくり返して再生します。
↓	
タイトル	現在のタイトルをくり返して再生します。
↓	
オール	すべてのタイトルをくり返して再生します。
↓	
オフ（表示なし）	現在のタイトルの再生が終わると、タイトル画面に戻ります。

アングルの切り換え

再生中に【アングル】ボタンを押します。

映像のアングルが押すたびに切り換わります。

・【アングル】ボタンを押すと、切り換えができるアングルの数と、再生しているアングルの番号が表示されます。

・アングル切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。アングル切り換えに対応している DVD の場合は、パッケージの表示で確認できます。

ズームの切り換え

再生中に【ズーム】ボタンを押します。

押すたび画面の表示倍率が切り換わり、現在の倍率が画面に表示されます。

2X → 3X → 4X → 1/2 → 1/3 → 1/4

拡大サイズ（2 倍、3 倍、4 倍）で再生中に方向ボタンを押すと、画像の表示範囲を移動させることができます。

再生情報の表示

再生中に【画面表示】ボタンを押します。

再生中のディスクの再生状況が表示されます。
再生中のタイトル番号、チャプター番号および再生時間が表示されます。
画面表示ボタンを押すたびに、再生時間表示は次のように切り換わります。

タイトル経過時間	再生中のタイトルでの経過時間を示します。
↓	
タイトル残り時間	再生中のタイトルでの残り時間を示します。
↓	
チャプター経過時間	再生中のチャプターでの経過時間を示します。
↓	
チャプター残り時間	再生中のチャプターでの残り時間を示します。
↓	
表示オフ	再生情報を表示しません。

CD の操作

トラックのスキップ

再生中に【次へ】ボタンを押します。
次のトラック（曲）に移動します。

再生中に【前へ】ボタンを押します。
前のトラック（曲）に移動します。

くり返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押します。

くり返し再生の方法が切り換わり、現在の状態が画面に表示されます。【リピート】ボタンを押すたびに、表示は次のように切り換わります。

トラック	現在のトラック（曲）をくり返して再生します。
↓	
オール	すべての曲をくり返して再生します。
↓	
オフ（表示なし）	現在のトラック（曲）の再生が終わると停止します。

再生情報の表示

再生中に【画面表示】ボタンを押します。

再生中ディスクの再生状況とトラックの演奏時間が表示されます。
画面表示ボタンを押すたびに、演奏時間表示は次のように切り換わります。

シングル経過時間	再生中のトラックの経過演奏時間を示します。
↓	
シングル残り時間	再生中のトラックの残り演奏時間を示します。
↓	
トータル経過時間	再生中の CD の経過演奏時間を示します。
↓	
トータル残り時間	再生中の CD の残り演奏時間を示します。

※ 再生直後に「シングル経過時間」は表示されませんが、画面表示ボタンを数回押すことで約5秒間表示します。

CD を録音する

※ 注意：録音に使用する外部メディアに重要なデータがある場合には、必ずバックアップ保存をしてから録音をしてください。

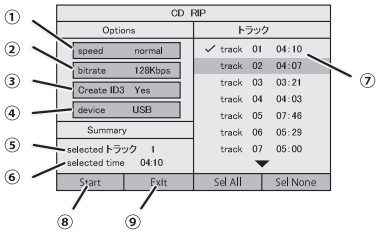
- USB/SD に空き容量が無い場合は「Device full !」と表示されて録音できません。
- 本製品では外部メディアに記録されているデータを削除することはできません。
- 「CD RIP」画面が表示されていると音量調整ができません。
- 音量が 0 や消音状態で録音をしても、再生時の音質や音量に影響ありません。
- 録音中に音量調整はできません。「CD RIP」画面を表示する前に音量を調整しておいてください。
- 本製品では録音を行うと、ファイル形式は MP3 で記録されます。
- 容量の大きい外部メディアを接続すると、読み込みに時間がかかる場合があります。
- 本製品ではフォルダ名やファイル名の入力はできません。
- 本製品では MP3 や WMA などのファイル形式のディスクからの録音はできない場合があります。市販の CD を録音するときに使用してください。

CD を USB/SD へ録音

1 本体の電源を入れ、外部メディアを本体のスロットに差し込みます。

2 CD ディスクが挿入されている時に【字幕】ボタンを押すと「CD RIP」画面が表示されます（下図参照）

CD録音（CD RIP：リッピング）画面



① speed 【決定】ボタンを押すたびに録音（リッピング）速度を切り換えることができます。
　normal 通常速度：音楽を聞きながら録音します。
　fast 倍速：音楽は聞こえませんが録音時間が短縮されます。

② bitrate 【決定】ボタンを押すたびにビットレートを変更できます。
　ビットレートの数値が大きいほど高音質ですが、録音後のファイルサイズが大きくなります。

③ Create ID3 TAG 式ファイルを作成するかどうかの設定ができます。

④ device 録音先を USB または SD へ設定します。

⑤ selected トラック 選択した曲数を表示します。

⑥ selected time 選択した曲の合計再生時間を表示します。

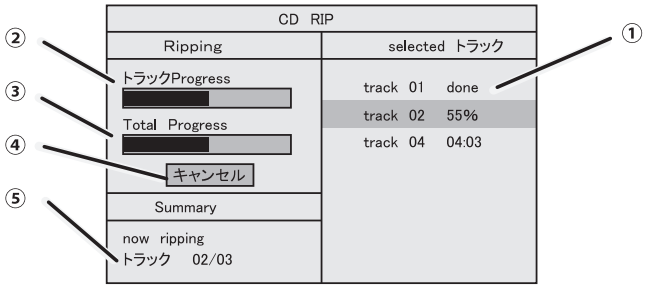
⑦ CD に収録されているトラックリスト（曲数リスト）を表示します。
録音したい曲にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押すと、左に「チェックマーク」が表示されます。
すべての曲を選択する場合は「Sel All」、すべての選択を取り消すには「Sel None」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押してください。

⑧ Start 録音したい曲を選択している場合にリッピングを開始します。

⑨ Exit リッピング画面を終了して CD 再生画面に戻ります。

3 「Start」を選択して【決定】ボタンを押してください。録音を開始します。

録音中



① 現在録音している曲数（トラックナンバー）を表示します。
② 曲（トラック）ごとの録音進捗状況を表示します。
③ 録音する総時間合計の録音進捗状況を表示します。
④録音中に決定ボタンを押すと録音を中止します。
⑤ 選択した曲（トラック）数と、現在録音した曲（トラック）数を表示します。

録音された曲（トラック）は「RIP_xxx（xxx は数字）」フォルダに保存されます。
ファイル名は「TRACK001」「TRACK002」… というように順番に番号が増えるようにファイル名を割り当てられて、記録 / 保存されます。

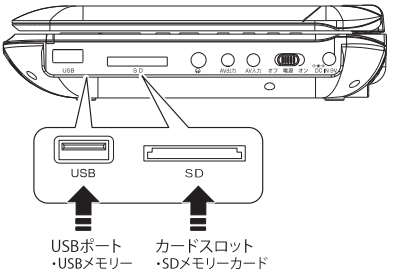
注意：すでに同じ曲が収録されていても、録音操作を行うたびに「新しい曲（トラック）」として新しいファイル名で録音 / 保存されます。
記録可能なフォーマットは FAT または FAT32 です。
記録するメディアが記録可能なフォーマットでは無い場合は記録できません。
動作が上記の画面で一時停止しますので、リッピングが 0％のまま進行しない場合は記録メディアのフォーマットを確認してください。

途中で録音を中止したい場合は、決定ボタンを押してください。
録音が終わると「CD RIP」画面に戻ります。
CD の録音を終了するには CDRIP 画面が表示されている時に「Exit」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押してください。

外部メディアを再生する

本製品では、外部メディア「SD（SDHC）メモリーカード」「USB メモリー」に保存したデータを再生できます。※ DVD 再生画面でのみ外部メディアへ切り換えることができます。

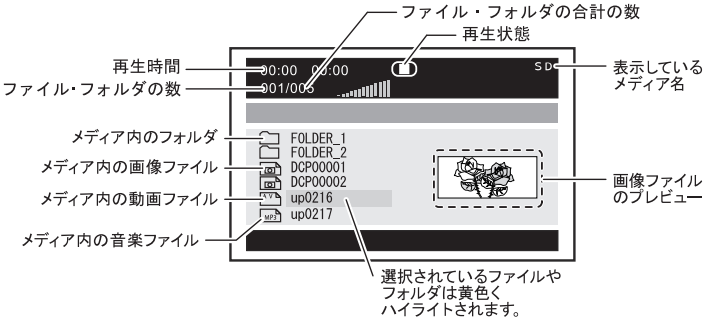
外部メディアの再生



1 本体の電源を入れ、外部メディアを本体のスロットに差し込みます。

2 【モード切換 】ボタンを押して、再生したいメディアへ切り換えます。
USB ポートが優先して表示されます。

3 画面に外部メディア内の「フォルダ名」と「ファイル名」が表示されます。



- 方向ボタンで再生したいファイルを選択し【決定】ボタンを押します。
- 音楽ファイル（MP3）、動画ファイル（MPEG4）を再生した場合は［早送り］［早戻し］［一時停止］の操作が可能です。
- 画像ファイル (JPEG) を再生した場合はスライドショーが始まります。
- スライドショー中に【メニュー】ボタンを押すと、上記の「ファイル一覧画面」に戻ります。
- ファイル名は半角17文字まで表示します。
- ファイル名を半角英数字以外の文字で記録すると、違う文字で表示されることがあります。
- ファイル名を半角で設定しても、記録した機器との相性により正常に表示されない場合があります。
- 使用する外部メディアのフォーマットは、FAT または FAT32 で行ってください。
- USB ポートとカードスロットへ各メモリーを同時に挿すと、USB ポートのものが優先して表示されます。
  もう一度【モード切換】ボタンを押すとカードスロットの内容が表示されます。
- USB ポートとカードスロットに何も挿入されていないときに【モード切換】ボタンを押すと「デバイスが見つかりません」という表示になり、ディスク画面に戻ります。

外部メディアの取り外し

1 【停止】ボタンを押して、再生を停止します。

2 【モード切換】ボタンを押して DVD を選択します。
外部メディアが使用されていないことを確認して取り外します。

※ 本製品が対応できるメモリーカード、USB メモリーの最大容量は 8GB までです。

※ 以下のメモリーカードは別途市販のアダプターが必要です。

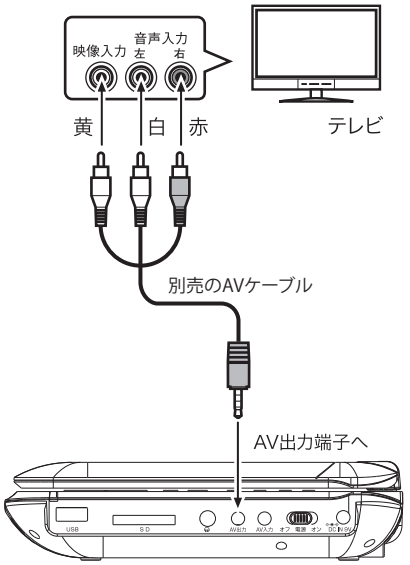
・mini SD ・micro SD

※ SD カードや USB メモリーを再生中に抜き差しをしないでください。
収録されているデータが破損する可能性があります。
DVD などのディスクの再生にも悪い影響が表れる可能性があります。

他のAV機器と接続する

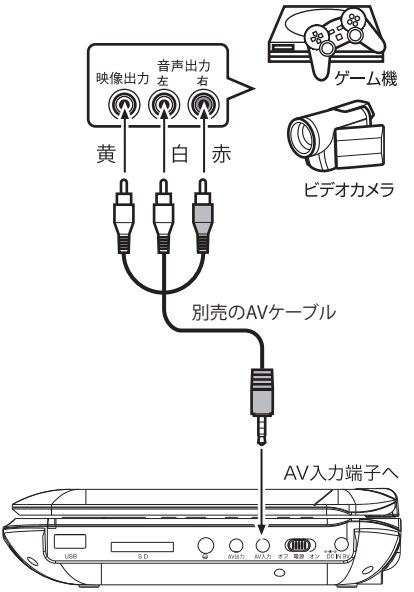
外部 AV 機器への出力

本製品で再生中の映像・音楽をテレビなど他の AV 機器へ出力することができます。接続の詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。



外部 AV 機器からの入力

ゲーム機やビデオカメラの映像を本製品の画面へ入力することができます。接続の詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。



※接続した AV 機器の音量調整については、ポータブル DVD プレーヤーでも行えますが、接続した AV 機器でも音量調整を行ってください。本体の音量を 0 にすると AV 機器への音声出力も 0 になりますのでご注意ください。

イヤホンを使用する

イヤホン端子にイヤホンやヘッドホンを接続することで音声を聞くことができます。

端子形状：直径 3.5mm ミニステレオ端子　端子部分の長さ：約 15mm

※形状や長さが違うものを使用すると、音が聞こえなかったり故障や破損の原因になります。
※本製品に付属している AV 接続ケーブルを誤って差し込まないよう注意してください。
※イヤホンを接続すると本製品のスピーカーから音声が出力されなくなります。
※使用するイヤホンやヘッドホンとの相性により正常な音声が聞こえないことがあります。
※モノラルイヤホンでは音声が聞こえないことがあります。
※イヤホン端子からヘッドホンや外部機器（スピーカー等）へ接続した場合に、音量が小さい状況だとノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、仕様ですのでご了承ください。

一般設定

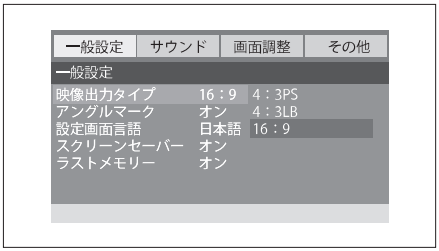
一般設定を変更することができます。

1 【設定】ボタンを押して方向ボタン◀▶で「一般設定」を選択し、▼ボタンを押します。

2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。



項目	設定	説明
映像出力タイプ	4：3 PS 4：3 LB 16：9	4：3PS　パンスキャン 4:3 サイズの画面です。ワイド画面の映像は一部分をカットして、画面全体に表示します。 4：3LB　レターボックス 4：3 サイズの画面です。ワイド画面の映像は上下に黒い帯が出ます。 16：9： 16：9 画面用の設定です。 ※一部の映像には適用されない場合があります。 ※この設定は AV 出力にも適用されます。
アングルマーク	オン オフ	オンにすると、ディスクがアングル切り換えに対応している場合に画面上にアングルマークのアイコンが表示されます。
設定画面言語	英語 日本語	画面表示言語を日本語、英語から選択できます。
スクリーンセーバー	オン オフ	オンにすると、再生していない状態で約 3 分間操作を行わないとスクリーンセーバーが作動します。
ラストメモリー	オン オフ	オンにすると、ラストメモリーが設定され、ディスクを取り出しても次に再生したときに続きから再生されます。 また、CD や外部メディアを再生した後に元の DVD ディスクを再生しても有効です。 ラストメモリーの設定は次の場合に解除されます。 ・別の DVD ディスクを再生する ・本体、リモコンの停止ボタンを二度押してディスクを完全に停止させたとき

サウンド

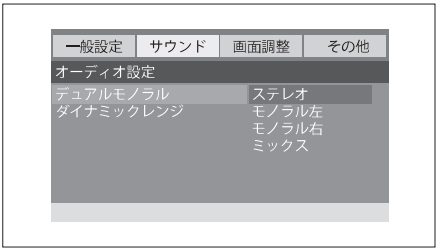
音声の各設定を変更することができます。

1 【設定】ボタンを押して方向ボタン◀▶で「サウンド」（オーディオ設定）を選択し、▼ボタンを押します。

2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。



項目	設定	説明
デュアルモノラル	ステレオ モノラル左 モノラル右 ミックス	ステレオ・モノラル左 / 右・ミックスのいずれかから選択できます。 お好みで設定してください。
ダイナミックレンジ	FULL～ OFF	音声の出力特性を9段階で設定します。

※ 変更が適用されないディスクもあります。
※ 調整が微少で変化がわからない場合があります。

画面調整

画質の各設定を変更することができます。

1 【設定】ボタンを押して方向ボタン◀▶で「画面調整」を選択し、▼ボタンを押します。

2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼◀▶で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。



項目	設定・調整範囲	説明
鮮明度	高　中　低	鮮明度を [高][中][低] から選択できます。
明るさ	-16 ～ +16	画面の明るさを左記の調整範囲で設定できます。
コントラスト	-16 ～ +16	画面のコントラストを左記の調整範囲で設定できます。
彩度	-9 ～ +9	画面の彩度を左記の調整範囲で設定できます。
色調	-9 ～ +9	画面の色調を左記の調整範囲で設定できます。

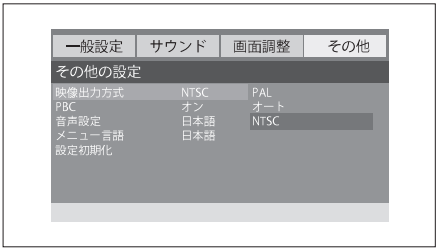
※ 本製品の液晶画面を調整 / 設定 / 変更をすることができます。
AV ケーブルで接続した出力先の画質は変更できません。

その他

本製品の基本的な動作設定を変更することができます。

1 停止中に【設定】ボタンを押して、方向ボタン◀▶で「その他」の設定を選択し▼ボタンを押します。

・この設定項目を選択可能にするには、ディスクやメディアの再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを本体から取り出した状態で実行してください。



2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。

項目	設定	説明
映像出力方式	PAL オート NTSC	カラー方式を「PAL」、「オート」、「NTSC」から選択できます。 ＊ 日本は NTSC 方式です。
PBC	オン　オフ	VCD の再生方法を選択します。必要に応じて設定してください。
音声設定	フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語、英語	ディスクに複数の音声が記録されている場合は、希望の音声言語を選択できます。 ※ここで設定した各音声が収録されている場合に設定できます。 収録されていない場合は、収録されている言語が設定されます。
メニュー言語	英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語	ディスクに複数のメニュー言語が記録されている場合は、希望のメニュー言語を選択できます。 ※ここで設定したメニューが収録されている場合に設定できます。 収録されていない場合は、収録されている言語が設定されます。
設定初期化	実行	初期設定（工場出荷時の設定）の状態に戻します。「視聴制限」のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

こまったときは

故障かな？と思ったときは、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、一度本製品本体の電源スイッチを OFF にしてから、再度起動してみてください。
それでも正常に作動しない場合は、弊社サポートセンターにご連絡ください。
（各項目の詳細は、この説明書の対応する項をお読みください）

症状	考えられる原因・確認事項
製品本体が作動しない	製品本体の主電源は入っていますか？ 使用可能な乾 / 充電池が挿入されていますか？ 電源がスタンバイになっていませんか？ 製品本体の電源 LED が緑色に点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 ・製品本体の電源スイッチが ON であること ・電源が正しく接続されていること
ディスクが再生できない	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクのリージョンコードが本製品と合っていない可能性があります。リージョンコードの合わないディスクは再生することができません。
	ディスクの表裏を逆にセットしていませんか？ 印刷のある面が上になるようにディスクトレイにセットしてください。
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源コードを抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか？ 本製品の使用環境は 5℃～ 35℃です。
	DVD ± R/RW/ ± R DL ディスクの場合は、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行わないと再生できません。ファイナライズの行い方については、ディスクに録画を行った DVD レコーダーやパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。

※ 作成したディスク（CPRM 記録ディスクなど）を再生すると、当製品との相性により基本的な操作が正常に機能しない場合があります。

症状	考えられる原因・確認事項
本製品がリモコンの操作に反応しない	画面に ⊘ のアイコンが表示される場合は、無効な操作をしているか本製品がビジー状態になっている可能性があります。
	リモコンの電池が切れていませんか？ 新しい電池に交換してみてください。
	リモコンの発信部と本体リモコン受光部の間に信号を遮るものがないよう注意してください。
	製品本体の主電源は入っていますか？ 電源がスタンバイになっていませんか？ 製品本体の電源 LED が緑色に点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 ・製品本体の電源スイッチが ON であること ・電源が正しく接続されていること
	製品本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく作動しない場合があります。光があたらないようにするか、リモコンの角度を変えたり、受光部に近づいて操作してください。
画像・音声が乱れる、出ない	製品本体の主電源は入っていますか？
	電源がスタンバイになっていませんか？
	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクは正しくセットされていますか？
	本製品の設定が正しく行われていることをご確認ください。
	テレビシステム（PAL / NTSC）は正しく設定されていますか？ 日本は NTSC 方式です。
	電波を発生する機器の近くで使用していませんか？
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。電源を抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか？ 本製品の使用環境は 5℃～ 35℃です。

症状	考えられる原因・確認事項
画像・音声が乱れる、出ない（つづき）	消音になっていないかご確認ください。（リモコンの消音ボタンを押してみてください）
	音量がゼロになっていないかご確認ください。
アングル切り換えができない	再生しているディスクに、複数のアングルが記録されていない可能性があります。
音声の切り換えができない	再生しているディスクに、複数の音声が記録されていない可能性があります。
字幕の切り換えができない・消せない	再生しているディスクに、複数の字幕が記録されていない可能性があります。
テレビ・AV 機器接続時に画像・音声が乱れる・出ない	本製品の出力端子と、接続している機器の入力端子が正しく接続されていることをご確認ください。
	テレビのチャンネルは本製品からの入力に合っていますか？テレビの取扱説明書をご確認ください。（多くのテレビではビデオ、ビデオ 1、AUX In、Video In、A/V In などのチャンネルがビデオ入力です）
	本製品やテレビの画面や信号に関する設定をご確認ください。
	ケーブルにゆるみなどがないことをご確認ください。
4：3PS 表示ができない・切り換えができない	4：3PS（パンスキャン）はディスクに 4：3PS サイズで収録されている映像を表示するための機能です。16：9 サイズの画像を強制的に PS 表示（画面の左右をカットなど）にしてしまう機能ではありません。ディスクのパッケージに PS（パンスキャン）表記があるかご確認ください。

仕様

製品名	7インチ液晶ポータブル DVD プレーヤー
品番	APD-0701
本体サイズ	210（幅）×170（奥行き）×52（高さ）mm
本体重量	600g
液晶パネル	7 インチ、1,024×600
電源	電源アダプター 入力：AC100V 50/60Hz 出力：DC9V 1.5A
消費電力	18W
電池駆動	単 3 形乾電池 ×6 本、駆動時間：2 時間
入出力	電源入力、AV 入出力、イヤホン出力
メディアスロット	SDHC（最大 8GB）、USB（最大 8GB）
対応メディア	DVD-ROM/±R/±RW/±R DL（DVD-Video、VR/CPRM）
	CD-ROM/R/RW（CD-DA、VCD）
フォーマット	画像：.jpg、音声：.mp3/.wma、映像：.avi/.mov（幅 720pixels まで）
	映像コーデック：Xvid/mpeg2/mpeg4（H264/AVC 未対応）
動作環境	周囲温度：0 ～ 35℃ 周囲湿度：20 ～ 80%（結露無きこと）
製造国	中国

付属品

・リモコン（テスト用電池 ×2）　・屋内用 AC アダプター　・車用 DC アダプター
・取扱説明書　・保証書

※本製品は日本国内専用です。
※リモコンに挿入されている電池は動作確認用です。
※プレーヤー駆動用の電池 6 本は別売です。
※電池による駆動時間は目安です。使用状況や環境により駆動時間は異なります。

Scubism
株式会社エスキュービズム通商
［本　　社］〒105-0011　東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 2F
［商品管理部］〒349-1117　埼玉県久喜市南栗橋4丁目14番地1号
南栗橋シティセンタービル 3 F

■本製品のお問い合わせ先

お客様相談窓口	050-5893-2614
受付時間 月～金 ※弊社営業日（土日祝除く）	10:00 ～17:00

E-01　2016年8月現在